

## 事業評価書

補助事業名	芦屋飛行場関連公共用施設（環境衛生施設：防犯街灯）整備事業						
補助事業者名	芦屋町長						
実施場所	福岡県芦屋町 栗屋区ほか						
補助事業の成果の目標	経年による劣化・腐食等により機能に支障をきたしている防犯街灯の取替え及び未整備箇所への新設を行い、夜間の住居地域や通学路における地域住民の安全確保及び犯罪や事故の抑止を図る。						
補助事業の内容	防犯街灯設置・取替工事99灯 (灯具取替45灯 ポール建替36灯 新設18灯)						
補助事業の始期及び終期	平成28年度 ～ 平成30年度						
事業費及び交付金額		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度			計
	事業費	円 14,867,280	円 14,722,560	円 8,569,800	円	円	円 38,159,640
	交付金額	14,854,000	14,722,000	8,469,000			38,045,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>工事対象区域の住民に整備後、アンケートを取り事業の評価をおこなった。アンケートの結果、整備工事により危険箇所が減り、防犯及び交通等の安全に寄与しているとの意見があった。また、蛍光灯からLED灯に変更したことにより、見通しが良くなり安全性が向上しているとの意見もあり、住民の安心安全の確保を達成できた。</p> <p>周知については、芦屋町区長会での報告及びホームページにて、特定防衛施設周辺整備調整交付金により実施した旨を掲載している。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	なし						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	なし						

## 事業評価書

補助事業名	芦屋飛行場関連公共用施設（消防に関する施設：消防ポンプ自動車）整備事業						
補助事業者名	芦屋町長						
実施場所	福岡県遠賀郡芦屋町中ノ浜4-18						
補助事業の成果の目標	<p>芦屋町消防団第2分団に現在配備されている消防ポンプ自動車は、配備から約15年が経過し、経年劣化による性能低下が見受けられ、迅速な消防活動に支障を来している状況である。</p> <p>今回車両を更新することにより、上記問題を解消し、地域の安心・安全と地域防災力の向上を図る。</p>						
補助事業の内容	消防ポンプ自動車(CD-1型)1台						
補助事業の始期及び終期	平成30年度						
事業費及び交付金額		平成 30 年度					計
	事業費	円 21,384,000	円	円			円 21,384,000
	交付金額	21,384,000					21,384,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>消防ポンプ自動車の更新配備後の消防訓練において、消防団員から聴取したところ、従来よりも迅速な活動が可能となったことを確認できたので、地域防災力の強化の向上に大いに貢献していると評価する。</p> <p>また、芦屋町ホームページ(平成31年3月29日)及び広報あしや(令和元年5月1日号)において、特定防衛施設周辺整備調整交付金により購入した旨、地域住民への周知を図った。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	なし						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	なし						

## 事業評価書

補助事業名	芦屋飛行場関連公共用施設（消防に関する施設：モーターサイレン）整備事業						
補助事業者名	芦屋町長						
実施場所	芦屋町大字芦屋94-2、大字山鹿228-1、幸町2654						
補助事業の成果の目標	<p>現在、芦屋町では、火災や災害発生などの緊急情報を住民へ迅速に伝える伝達手段として町内に2基のモーターサイレンを設置している。しかしながら、2基だけでは町内全ての居住区エリアをカバーできず、また、既存の同サイレンは老朽化により早急な改修が必要な状況である。</p> <p>そこで、老朽化したモーターサイレンを改修すること及び町内西部に新設することにより、地域の安心・安全に資することを目的とする。</p>						
補助事業の内容	モーターサイレン整備工事 一式						
補助事業の始期及び終期	平成30年度						
事業費及び交付金額		30年度					計
	事業費	円 24,840,000	円	円	円	円	円 24,840,000
	交付金額	24,840,000					24,840,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>平成31年3月モーターサイレン設備完成後、サイレン音の町内居住区エリアへの到達状況を音達試験により確認した。この結果、町内全居住区域において、良好な音達状況が確認できたことから、地域防災力の強化に大いに貢献できたと評価している。</p> <p>また、芦屋町ホームページ（平成31年6月26日）及び広報あしや（令和元年6月1日号）において、特定防衛施設周辺整備調整交付金により整備した旨、地域住民へ周知を図った。</p>						
事業の改善策及び今後の対応	なし						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	なし						

## 事業評価書

補助事業名	芦屋飛行場関連特定事業（交通に関する事業：芦屋町バス運行事業基金）						
補助事業者名	芦屋町長						
実施場所	芦屋町						
補助事業の成果の目標	<p>芦屋町には鉄道駅（鉄道路線）がないため、路線バスが主要な公共交通であり、高齢者や通勤通学者の生活に欠かせない移動手段となっている。</p> <p>このため、芦屋町バス運行事業基金を創設し、バス運行事業の充実及び確保、維持を図る。</p> <p>（参考指標：基金創設前年度実績）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・芦屋タウンバス平日便数：64便</li> <li>芦屋タウンバス土休日便数：40便</li> <li>・芦屋町巡回バス便数：14便</li> </ul>						
補助事業の内容	芦屋タウンバス及び巡回バスにおける運行費用に充当。						
補助事業の始期及び終期	平成27年度から平成37年度まで						
事業費及び交付金額		27年度 まで	28年度	29年度	30年度	計	
	事業費	円 0	円 24,669,657	円 26,860,158	円 31,346,871	円 82,876,686	
	基金 造成 成額	交付金額	20,000,000	26,619,000	26,752,000	28,764,000	102,135,000
		市町村費等	0	0	0	0	0
		運用益	0	45,001	59,994	56,179	161,174
		計	20,000,000	26,664,001	26,811,994	28,820,179	102,296,174
	基金処分額	0	20,000,000	26,723,995	30,412,000	77,135,995	
	基金残額	20,000,000	26,664,001	26,752,000	25,160,179		
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>芦屋タウンバスについて、平日便数が67便、土休日便数が49便。町内巡回バス（無料）については、14便となっている。本基金により安定的な事業運営ができ、地域公共交通手段の充実及び確保ができたことを確認した。</p> <p>また、本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金（防衛省）により実施されている旨をバス車内へ掲示し、地域住民へ周知を行った。</p>						
事業の改善策及び今後の対応	なし						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	なし						

## 事業評価書

補助事業名	芦屋飛行場関連特定事業 (教育、スポーツ及び文化に対する事業:学力向上事業基金)						
補助事業者名	芦屋町長						
実施場所	芦屋町						
補助事業の成果の目標	児童・生徒に応じたよりきめ細やかな学習指導を充実させ、基礎的な知識や技能の習得を通して学力の向上を図ることを目的とする。						
補助事業の内容	加配講師の雇用						
補助事業の始期及び終期	平成27年度～平成37年度						
事業費及び交付金額		27年度	28年度	29年度	30年度	計	
	事業費	円 0	円 17,755,835	円 27,791,089	円 21,132,822	円 66,679,746	
	基金 造成 成額	交付金額	28,564,000	21,160,000	26,752,000	20,000,000	96,476,000
		市町村費等	0	0	0	0	0
		運用益	0	64,270	72,198	81,716	218,184
		計	28,564,000	21,224,270	26,824,198	20,081,716	96,694,184
	基金処分額	0	17,700,000	20,000,000	20,000,000	57,700,000	
基金残額	28,564,000	32,088,270	38,912,468	38,994,184			
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>学力調査の結果を分析することで、学力の向上状況を把握した。また、分析結果をもとに、単元毎に明確に状況把握し対応を検討した。なお、学力状況と対応策については、学力向上検証委員会を実施し、学校との共通認識を図った。</p> <p>また、地域住民にはHPを活用し、特定防衛施設周辺整備調整交付金事業を活用している内容を掲載することで周知を図っている。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	なし						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	なし						

## 事業評価書

補助事業名	芦屋飛行場関連特定事業（医療に関する事業：芦屋町乳幼児・子ども医療費助成事業基金）							
補助事業者名	芦屋町長							
実施場所	芦屋町内全域							
補助事業の成果の目標	<p>芦屋町は子育て支援策として、疾病の早期発見と治療を促進し、子どもの保険の向上と福祉の増進を図るため、中学校以下の子どもの医療費助成を行っている。</p> <p>このため芦屋町子ども医療費助成事業基金を設置し、児童生徒の医療費に対する助成に充て、保護者の負担軽減を図ることにより、子育て世帯の子育て支援に寄与することを目的とする。</p>							
補助事業の内容	小・中学生に係る医療費（通院・入院）の一部助成							
補助事業の始期及び終期	平成23年度～平成37年度							
事業費及び交付金額		平成23～ 26年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	計	
	事業費	円 50,400,455	円 23,478,434	円 23,165,009	円 18,793,010	円 17,158,104	円 132,995,012	
	基金 造成 額	交付金額	262,086,000	1,000,000	0	0	0	263,086,000
		市町村費等	0	0	0	0	0	0
		運用益	328,516	483,999	681,072	392,804	333,842	2,220,233
		計	262,414,516	1,483,999	681,072	392,804	333,842	265,306,233
	基金処分額	48,000,000	22,000,000	20,000,000	16,000,000	16,000,000	122,000,000	
基金残額	214,414,516	193,898,515	174,579,587	158,972,391	143,306,233			
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>平成30度において、13,227件の医療費助成を実施し、保護者へのアンケートで「子育て世帯の負担に役立っており、本事業の継続を望んでいる。」との回答が得られ、子育て支援に寄与することができた。</p> <p>また、本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金(防衛省)により実施されている旨を町広報誌及びHPに掲載をすることにより、保護者及び町民へ周知を図った。</p>							
事業の改善及び今後の対応	なし							
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	なし							